

黒埼町の公報

資料編

町史編さん課

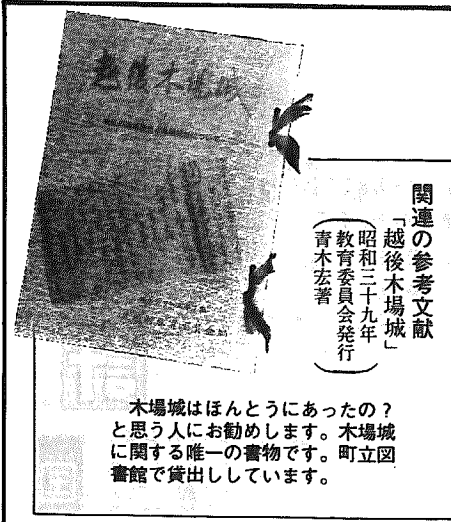
「越後三条山吉家伝記之写」 にみる木場城

町史編さん課が始まり二年が経過しました。この間、町史編さん課には貴重な史料が集まりつつあります。今号から資料編と題して紹介していきます。執筆陣に宮田栄門係長に加えて、青木宏課長(今号担当)が参加します。なお、今号の通史編も随時掲載します。資料編、通史編ともご期待ください。

千葉市在住の山吉哲久氏は「越後三条山吉家伝記之写」を原蔵されている。山吉氏は上杉謙信、景勝の譜代の将として活躍した山吉家の末孫である。

越後三条山吉家は、蒲原郡山吉村(見附市山吉町)に興りし山吉姓を名乗った。

室町時代の初めから戦国時代の末期にかけて、郡司や城将として越後中郡北端の要衝地である蒲原郡三条(現・三条市)に在城し、のち木場城二の丸城将を勤め、慶長三年(一五九八)主家上杉景勝が会津、さらには米沢へと転封の際これに従った。



関連の参考文献
「越後木場城」
昭和二十九年
教育委員会発行
青木宏著

木場城はほんとうにあった？
木場城図
町立図書館
にお勧めします。
と思う人に関する唯一の書物です。
図書館で貸出しています。



想像図

この山吉家の伝記から「木場城」について記してみたい。なお、伝記の奥書には「右元禄十六癸未年十月一日写之改者也」とあることから、伝記の写はそれ以前といえよう。

さて、天正年代前期の越後は謙信の死後御館の乱を契機として大揺れに揺れていた。しかも、謙信時代に拡張した勢力下の越中(富山県)、能登(石川県)、北信濃(長野県)、関東口(群馬県)へ織田信長

この山吉家の伝記から「木場城」について記してみたい。なお、伝記の奥書には「右元禄十六癸未年十月一日写之改者也」とあることから、伝記の写はそれ以前といえよう。

さて、天正年代前期の越後は謙信の死後御館の乱を契機として大揺れに揺れていた。しかも、謙信時代に拡張した勢力下の越中(富山県)、能登(石川県)、北信濃(長野県)、関東口(群馬県)へ織田信長

この山吉家の伝記から「木場城」について記してみたい。なお、伝記の奥書には「右元禄十六癸未年十月一日写之改者也」とあることから、伝記の写はそれ以前といえよう。

さて、天正年代前期の越後は謙信の死後御館の乱を契機として大揺れに揺れていた。しかも、謙信時代に拡張した勢力下の越中(富山県)、能登(石川県)、北信濃(長野県)、関東口(群馬県)へ織田信長

この山吉家の伝記から「木場城」について記してみたい。なお、伝記の奥書には「右元禄十六癸未年十月一日写之改者也」とあることから、伝記の写はそれ以前といえよう。

さて、天正年代前期の越後は謙信の死後御館の乱を契機として大揺れに揺れていた。しかも、謙信時代に拡張した勢力下の越中(富山県)、能登(石川県)、北信濃(長野県)、関東口(群馬県)へ織田信長

町のどこかにニュース足報



電鉄寺地停留所が移転新設

新潟交通電鉄寺地停留所が1月19日(日)、新潟市方向に約90メートル移設されました。これは、新潟市の都市計画道路小針線の通過によるものです。寺地停留所の1日平均乗降客は235人(60年度)です。



善急の窓
♥土田喜久乃さん(善久997)一写真一が車いす1台と現金5万円を寄付されました。
♥北部地区公民館へ図書への寄付
北原一潔さん(山田470-18)
梅津貞吉さん(寺地490-27)
佐藤キヨさん(寺地580-4)



黒埼スキークラブ
来冬またヨロシク



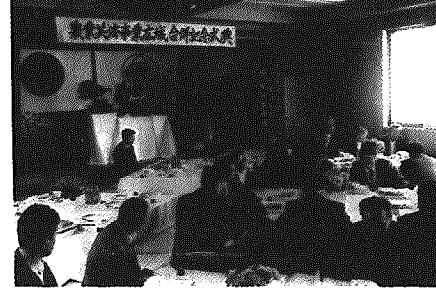
小柳信義君(木場小)が
文部大臣賞

木場小四年の小柳信義君が昨秋にかいた絵が、全国児童才能開発コンテスト低学年図画の部で最優秀の文部大臣賞に輝きました。この受賞は県内初です。「まだ信じられないけど、うれしくて」と信義君。担任の北喜代先生と川崎吉市校長は「表現力に力を入れた学習指導の成果が早くも」と話しています。



大野七区商店街に
無料駐車場オープン

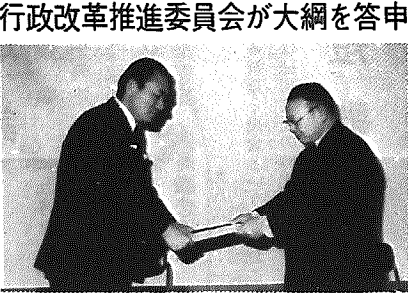
なんと大野町商店街の活性化を、と七区商店街では有志十八店が駐車場組合(箱田康雄組合長)を作り三月二十八日(金)、駐車場をオープンさせました。写真。町も地代の三分の一を補助しています。



農業共済事業が
他市町村と広域合併

今年度から本町の農業共済事業が西川町、巻町、湯東村、西蒲東部(味方村、月潟村、中の口村)、燕市と広域合併します。これは、国県の指導に基づくもので県内でも徐々に広域合併が進んでいます。三月一日(土)には板井・茂助で記念式典が開かれました。写真。なお、事務所は巻町共済事業組合におかれます。

行政改革推進委員会(石黒直正会長ほか7人)が2月20日、黒埼町行政改革大綱をまとめ、町長に答申しました。委員会は昨年10月から審議を重ねてきました。大綱は①行政改革の必要性と基本的姿勢②行政改革の基本的方策③当面の措置事項から構成されています。詳しい内容は広報でお知らせします。



昨年10月から移転新築中だった木場保育所が3月15日完成しました。総事業費は1億7600万円ほどです。施設は鉄筋コンクリート平屋建て、面積は784平方メートル、講堂1、保育室4、乳児室1、調理室1などのほかプールがあります。定員は前と同じ90人です。施工業者は榎本組、榎新潟広瀬組ほか。今春84人が入園します。

町の動き

入札結果から

工事名	工事業者	請負額(千円)	入札日	完工期限
農道205号線改良工事	日商総合企業(株)	960	2月15日	3月21日
黒埼中学校教室改装工事	(株)山際総合建設	2850	3月3日	3月31日
鳥原寺地線歩道部防護さく設置工事	(有)笹川組	1100	3月12日	3月29日
ガードレール設置工事(寺地善久線他1路線)	(株)志賀組	2000	3月24日	3月31日

云所有り、木場より新発田へ十一里有り、天正九年より十四年迄、右三ヶ所と木場と昼夜之合戦有り、冬は雪を以て土手形を捲、寒中に水をかけ氷して置に、三、四月迄土手形有て、遠矢米ルニ無残子細ト云々

一、同年三月中旬二新沼沼垂川中島三ヶ所一所緒ニ成り、大軍木場へ押寄、木場より出張、三条并沼沼垂懸合打散し候、身味方無難帰城して、右之旨春日山へ委細注進申上候景勝公御感状一通

今般向其地凶徒相動之処、堅固防戦、敵数多之由、粉骨無比類候、足軽共も別て相稼之段、直江所への注進披見感候、自然相支者、弥一簾之擬候、可為専用候、委細直江可申候、謹言

應用飛脚、仍新発田露武色由、自方々告来候、無心元候、何も申届候間、各令如何ニ取懸候共、堅固ニ仕置尤二候、去而又、信州口の儀、長沼の地昨二日即日御仕置申付候上、人数差遣候、令出馬 新発田退治案中候、千言万句其地用心ニ相持候、謹言

山吉玄蕃丞殿
藤七殿

右之通御書は藤沼忠左衛門家二本書有り、藤七末筆故に藤沼家に留り申由也

すなわち、新沼・新発田までの距離、長期戦に及んだこと、冬は城の外に雪土手を築いて防戦し、土手の外から火矢などを放つても城内に届かないことある。水をかけて氷らすことあり、雪像造りの元祖を思わせる。

三月に新発田の大軍が木場に押寄せたが、これを城外で打散し無事帰城した。その旨を春日山に詳細に報告し感状を頂戴したとある。

このとき、上杉景勝は信州に出陣中で、春日山には城番として直江兼統がいた。景勝は新発田謀叛のことを信州で知った。四月四日の書状は信州からのもので、新発田のようすは各地から連絡があった心元無きことである。何としても堅固に守ってくれ、信州長沼は二日に仕置したので兵を遣わそうと考えている。新発田退治は思案中である、千べんも万べんも云うが木場城は用心して持ちこたえることとある。

かくして、新発田重家の戦宣告により、またも越後は兵火に包まれ、上杉景勝は越後の内外の敵と戦う時態となった。これ以後、下越地方一帯は血なまぐさい戦国絵図がくり広げられたのである。